

北海道浮魚ニュース

平成 10 (1998) 年度 15 号 (通巻 No.36)

1998 年 9 月 14 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

— 沖合域に分布見られるものの、魚影は薄い —

1998 年 9 月 7~10 日の間、稚内水試試験調査船北洋丸によって、オホーツク海我が国 200 海里水域内におけるサンマの来遊状況を調査しました。結果の概要は以下のとおりです。

1. 表層水温は沿岸で 18℃台、沖合の低いところでも 15℃台とまだ高い状態でした (図 1)。
2. 雄武~湧別沖では、その他に比べ暖かい水温域が広がっていました。
3. 夜間、停船・点灯しての目視調査及び航行中の探照灯による探索調査では、サンマは概ね表層水温 16℃台以下の沖合水域に分布しているのが確認されました。しかし確認された魚影は、知床岬沖の 1 地点を除き、いずれも数尾~数十尾程度で、漁獲の対象となる密度の魚群はほとんど見つかりませんでした (図 2)。
4. 魚体はごくわずかに体長 30cm 前後のものが見られましたが、その他はほとんどが体長 10~25cm のものでした (図 2, 3)。

なお、今回の調査結果を踏まえ、平成 10 年度オホーツク海のサンマ漁況予報が、9 月 14 日頃に発表される予定です。

また、枝幸~サロマ湖沖 20 マイル以内の範囲で、先達船による調査が 9 月 9 日頃から約 1 週間の予定で行われていましたが、魚影がほとんどなく、一旦中止しました。9 月末再開予定です。

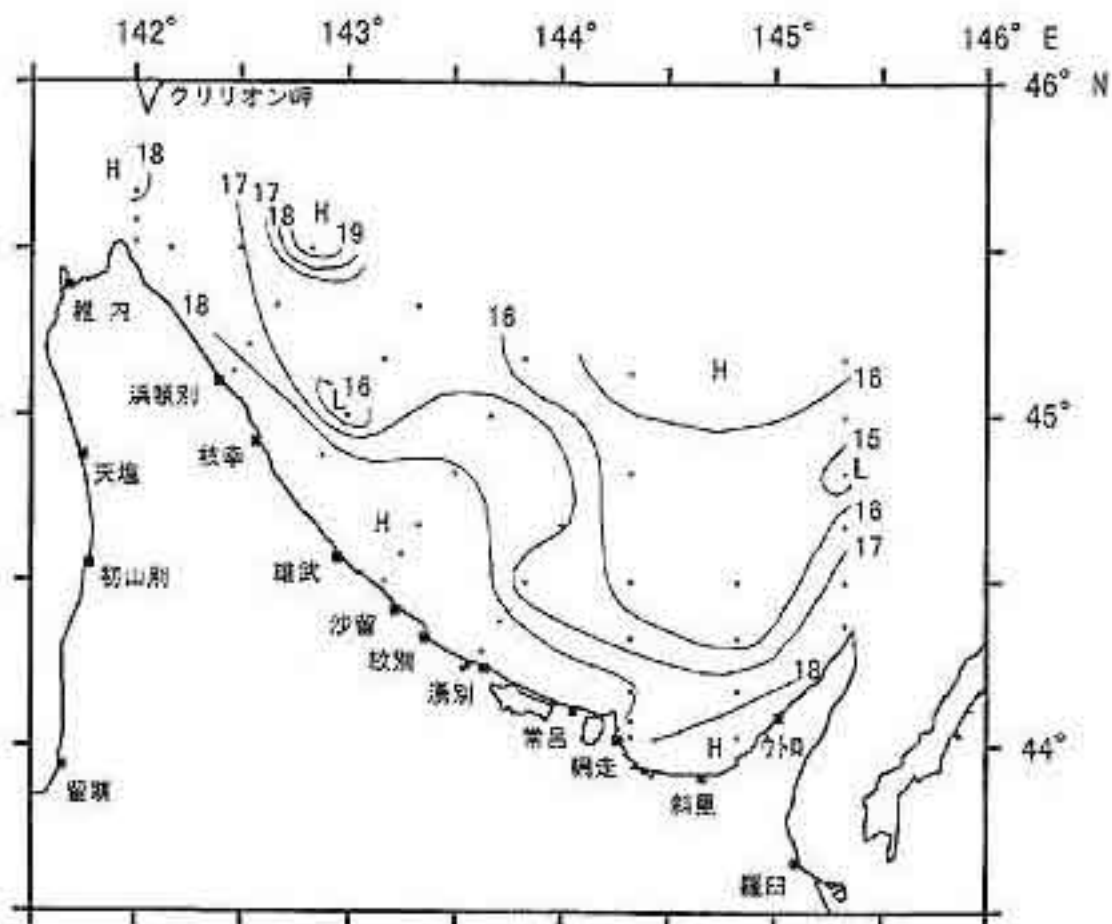


図1. 北洋丸による漁期前調査時（1998年9月7～10日）の表層水温

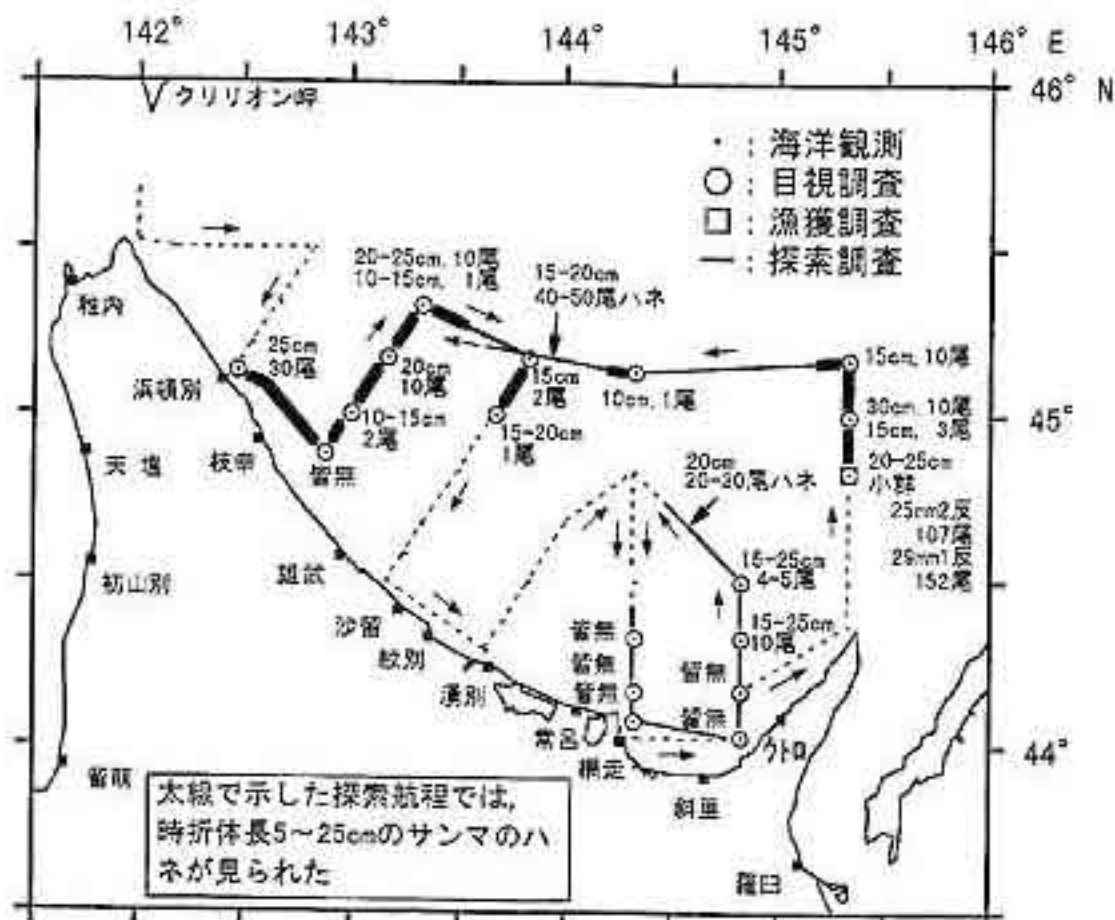


図2. 北洋丸による漁期前調査時（1998年9月7～10日）の探索・目視結果

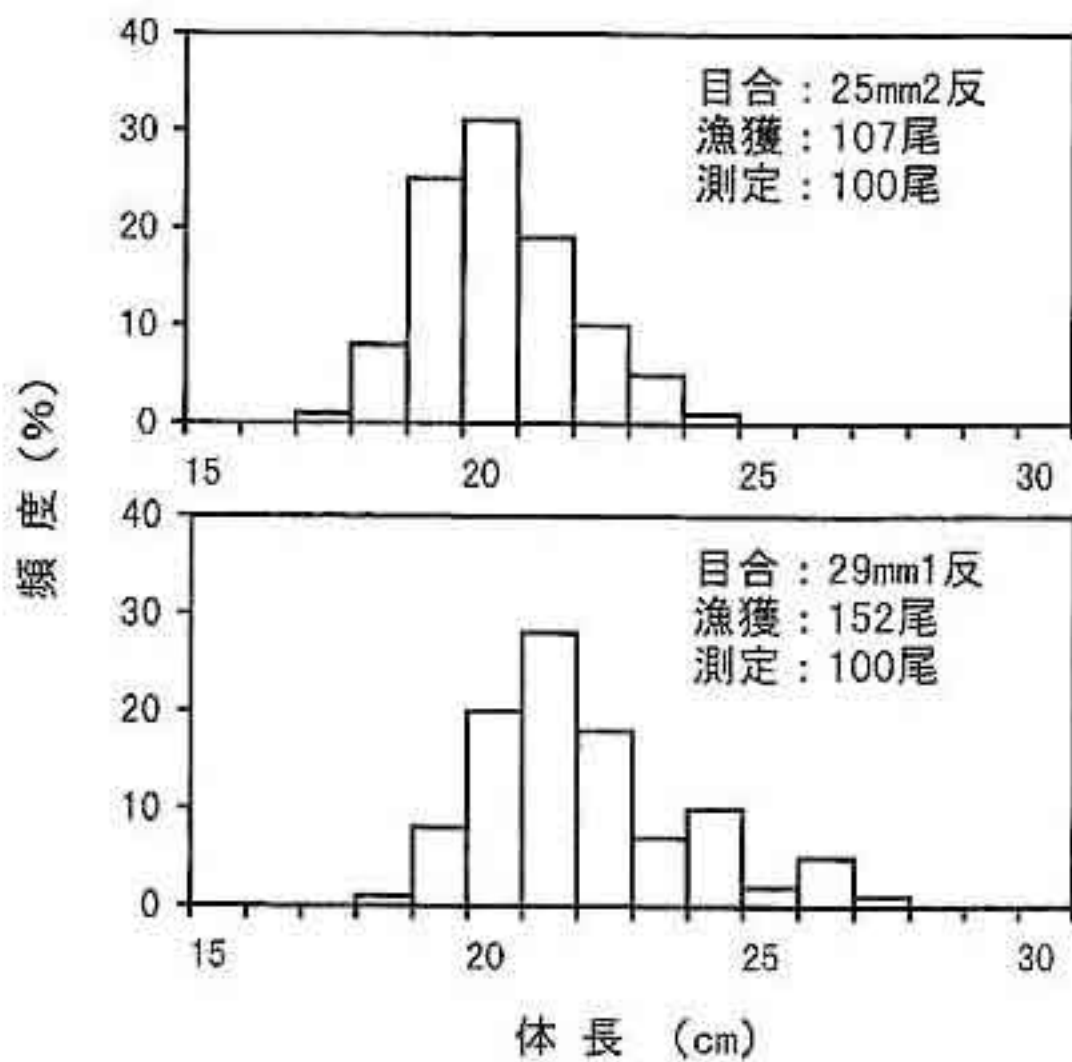


図3. 刺網によって漁獲されたサンマの体長組成
 1998年9月9日, 知床岬沖 (44° 50' N - 145° 20' E)

(文責: 網走水試資源管理部)